

(団体名) あなたはひとりじゃない

【代表】癒シンガーKeiko 【発足】2023年3月

【活動内容】出張音楽ライブ・出張授業。
学校教育機関や、子ども達のサポート施設に、
楽曲「世界で一番素敵な言葉」を届けに「ミニコンサート」や「歌う講演」
行っています。代表が乗っている電動車椅子の試乗も行なっています。

【活動目的】日常の中にある「当たり前」の幸せに目を向けるきっかけ作りを
することで、子どもたちの幸福度を上げ、自己肯定感のアップを目指します。

【PR・実績】代表は芸歴20年以上の現役プロシンガー&車椅子ユーザー
(立てますが疲れやすいため車椅子を使用)。ミニコンサートや歌う講演は
簡易音響機材(みかん箱くらいの大きさ)の持ち込みをするため
体育館や何処でも演奏が可能です。車で東京・川崎近郊に伺えます。

- ・公益財団法人川崎市文化財団令和5年度パラアート推進公募型委託事業・文化庁令和5年度障がい者等による文化芸術推進事業 実施
- ・令和5年度 かわさき子どもの権利の日 市民企画事業 実施(主催:川崎市・川崎市教育委員会)
- ・令和5年度 かわさき市民公益活動助成金事業 実施
- ・令和6年度 男女参画センター(すくらむ21)協働事業 実施中

あなたは
ひとりじゃ
ない



(HP) ↑
(問い合わせ先)

プログラムとして提供できること

【企画の背景】

- ・難病患者の一人となり、当たり前の日常が幸せであることや、周りの人のお陰で今の自身があると気づきます。出来ないことが増えてきて自分は生きている意味はあるのか?と思ったこともありましたが、今ならはっきりと言えます、自分は一人ではなかったのだと、...
- ・学校に訪問していく中で、子ども達の心の孤独対策が深刻であると知るようになります。

【現状分析・企画のゴール】

- ・内閣官房より、「あなたはひとりじゃない」孤独・孤立対策担当室が立ち上がり、神奈川県下学校より「いのちの授業」が立ち上がりました。子ども達の心の孤独対策が重要となっています。→【ゴール】心の幸福度が上がること

【コンセプト】

あなたの名前は
宝物

- ・日常の中で見逃しがちな小さな幸せや価値を再評価し、その大切さを浮き彫りにすることを目指しています。
- ・「世界で一番素敵な言葉」という歌を通して、周囲の人との繋がりを感じてもらう仕掛け



「世界で一番素敵な言葉」動画

【なぜ歌唱をするのか?】

- ・プロシンガーとして何千回というステージを踏んで感じたことは、「エンターテインメント」を取り入れることで、「笑顔」を引き出す事が出来ます。「歌」は「聞く」のハードルを下げてくれると感じています。

【施策案】

A案

- ・経験等のお話し
- ・「世界で一番素敵な言葉」歌唱
- ・電動車椅子の体験
(全部で20分~45分相談可能)

B案

- ・皆で歌おう・演奏コーナー(タンバリン30個アリ)
- ・「世界で一番素敵な言葉」歌唱
- ・電動車椅子の体験
(全部で30分~45分相談可能)

【必要事項について】

- ・必要に応じて音響機材は持ち込ませて頂きますのでご負担はございません。(音響係もお手配不要です。広い体育館でも問題ありません)。基本は代表一人の訪問となります。車椅子での訪問となります。段差や階段がある場合、男性二人のお力をお借りできると助かります。(階段や段差等は本人は車椅子からおりますので、車椅子のみとなります)
- ・駐車場のお手配のみ、可能でありましたらお願いを出来るようすと幸いです。

歌手・歌う講演家 癒シンガーKeiko (イヤシンガー ケイコ)



HP & 問い合わせ先



■プロフィール

- ・岡山県生まれ、神奈川や東京を拠点に活動中
- ・プロシンガーとして芸歴20年以上
- ・2012年：国の指定難病「多発性硬化症」患者となる
- ・2017年：多発性硬化症親善大使拝命（難病患者団体全国多発性硬化症友の会/認定NPO法人日本多発性硬化症協会）
- ・2019年：歩けるし走れるが疲れやすいため、脳機能や体力等を維持するため講演時やステージでは電動車椅子を使用
- ・2021年：ユニバーサルミュージックより「世界で一番素敵な言葉」をリリース
- ・2022年：アマーバ公式ブロガー
- ・2023年：任意団体「あなたはひとりじゃない」発足
- ・病気になり、ステージスタイルも変わり、日常生活でも出来ない事が増えてきたが、ただ一つ変わらないものがあつた。それは「声」を使う事だった。もしこの身体で残してくれたものが「声」であるならばと、歌「世界で一番素敵な言葉」を通して、今までの経験や「想い」を伝えている。
- ・内閣官房孤独・孤立対策の「あなたはひとりじゃない」。神奈川県下学校「いのちの授業」等に着目し、身近な「幸せ」に気づくきっかけ作りを行なっている。



■活動実績(歌・歌う講演)

- ・2017年・学校2校
- ・2018年・学校2校
- ・2020年・学校1校
- ・2021年・学校1校
・法人4社
- ・2022年・学校4校
・法人12社
- ・2023年・小学校1校「人権講演」
・狛江教育委員会「人権問題」
・法人2社
・新ごえん楽市（開会式）@川崎
・子どもサポート施設4校
（かわさき市民公益活動助成金事業 2校含む）
・「公益財団法人川崎市文化財団 令和5年度 パラアート推進公募型委託事業」(文化庁 令和5年度 障害者等による文化芸術活動推進事業)
- ・かわさき子どもの権利の日 市民企画事業
- ・2024年・岡山理科大学附属高校通信過程
・法人1社
・川崎市教育委員会「寺子屋」事業
・三浦市立南下浦小学校/ 教員向け「人権研修」

■メディア実績(歌手・難病患者)

- ・2016年・読売新聞3回・NHKテレビ
・日本テレビ newsevery
- ・2017年・フジテレビ「おじゃmap」
・調布経済新聞
・毎日新聞
- ・2019年・スポーツ報知4回
- ・2020年・朝日新聞with news
- ・2021年・日経web情報岡山
・東京新聞
- ・2022年・Yahoo!ニュース
・日刊ゲンダイ
- ・2023年・読売新聞
・狛江市民活動生活情報誌「わっこ」
- ・2024年・神奈川新聞
・ケーブルテレビ「ジモトトピックス」